

令和4年度学校評価総括評価表

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画		評価		
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
生徒指導の充実	①基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の充実	生徒指導課 各学年主任	① 遅刻者数を700人以下にする。 (R3:726人)	① 毎日の立哨指導や遅刻カードによる指導、また毎朝の声かけ指導など様々な取り組みを実施し、遅刻者数は1月末までで592名で、昨年度の同時期(668名)から減少させることができた。	(評定) B	校門前の道の街灯が暗い。注意した通行が必要である。	○基本的な生活習慣は、人間の態度や行動の基礎となるものであり、生徒にとって社会的な自立や自己実現のために大変重要であるという認識のもと、さまざまな指導の徹底を図っていききたい。特に交通安全指導については、さらに改善されるように様々な指導を展開していききたい。
			② 交通事故防止と交通マナー向上の指導を徹底させ、登下校における交通事故を3件以内にすることを目標とする。(R3:3件)	② 登下校中の接触事故は4件で、目標を達成することができなかった。4件とも命に関わるような事故ではなく、軽傷の事故であった。			
		生徒指導課 各学年主任	活動計画 ① 登校指導や「遅刻ゼロの日」、「考査時の5分前登校」の取り組みを充実させる。また、遅刻カードで遅刻数や理由を確認し、個別に指導する。声かけ指導も毎朝実施する。	① 生徒に遅刻カードを記入させ、捺印の際に遅刻数や理由を確認し、個に応じた指導を実施した。また、遅刻ゼロの日の前日には、生活委員が校門前で呼びかけるなどの取組や考査時は5分前登校も実施した。毎朝、声かけ指導もおこなった。	(所見) 遅刻者数の目標を達成することができたが、登下校の交通事故数の目標を達成することができなかった。警察など関係機関との連携を図りながら、生徒の安全を第一に考え、さらに指導方法等の工夫改善を図りたい。		
			② 登校時の立哨指導(毎日)、街頭指導(月1回)、交通安全街頭キャンペーン(年2回)、車体検査と通学別集会(年3回)、交通委員会による挨拶運動(月1回)の実施。	② 登校時の街頭指導は毎日実施し、毎月の学校安全の日にも通学指導を実施した。3年生に対しては自動車免許取得説明会も開催した。交通キャンペーンはコロナウイルス感染のリスクを考慮して実施しなかった。			

重点課題	重点目標	主担当	自己評価			学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と 今後の改善方策
			評価指標と活動計画		評価		
			評価指標	評価指標の達成度	総合評価		
人権教育の充実	②自他を大切にす る心や態度の育成	人権国際教育課	① 3年生対象の「人権に関する意識調査」で、人権課題に取り組む意欲を示す回答を90%以上に保てるようにする。 (R3:97%, R2:93%)	① 「意欲的に取り組んだ」、「ある程度取り組んだ」を合わせて95%の回答を得ることができ、目標とした9割以上を達成できた。	(評定) B		○人権教育の観点での各課間の情報交換および人権教育に主眼を置いた教科指導等、人権教育の一層の充実を図る手立てを設けたい。
			② 学校いじめ防止方針に基づき、未然防止に努め、いじめによる特別指導を0件にする。 (R3:0件)	② いじめ防止指導を徹底し、いじめによる特別指導はなかった。			
			③ 生徒理解に努め、必要に応じた職員研修やケース会議を実施する。	③ 生徒の実態調査を基に、情報共有を行った。また、必要に応じて、学年会や教科担任会などのケース会を行った。			
		活動計画 ① 多様性や人権を尊重し、いじめ・差別を許さない生徒の意識や態度を育てる人権HR活動や人権映画鑑賞会・講演会等を行う。	① 人権HR活動を5回実施、第3回の人権映画では、災害時の心のケアについて考える映画を鑑賞した。人権国際理解講演会では国際社会と人権について考える機会を持った。	(所見) 教育活動全般を通じて人権尊重の精神の涵養につとめた。また、本校生徒の実態に応じた指導の実現のために、生徒の心情や、対人関係を把握する機会を複数回設けることもできた。調			
人権国際教育課							

		<p>② いじめに関するアンケートを年2回実施し、早期発見に努める。また、いじめは絶対に許さないという姿勢を全校集会等で明確にし、生徒が相談しやすい環境をつくる。</p> <p>③ 特別支援教育の視点で、生徒実態調査を、年1回行い、その結果を教職員研修会で情報共有する。支援が必要な生徒については、年間2回以上ケース会議を行う。(R3:ケース会議2回)</p>	<p>② 本校の実態にあった年間計画を作成し、アンケート調査(年2回)や個別面談などの取組を行うことで生徒の悩みや対人関係の状況を把握し、未然防止に努めた。</p> <p>③ 生徒実態調査を5月に行い、情報共有を行った。支援が必要な生徒についての保護者面談、外部機関との情報交換会、教科担任会など2回以上行うことができた。また、巡回支援相談員に来校してもらい、授業見学後、ケース会を1回行った。</p>	<p>査後の対応も、担任を中心に教職員が全体で迅速に行動することで効果的な指導はできた。</p>	
--	--	--	---	--	--

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価 学校関係者の意見	次年度への課題と今後の改善方策	
			評価指標と活動計画	評価			
キャリア教育の充実	③社会的自立のために必要な能力や態度の育成	進路指導課	<p>評価指標</p> <p>① 最終進路先に満足する生徒の割合が90%以上、本校の進路指導に満足する生徒の割合が90%以上。(R3:進路先に満足95%、進路指導に満足93%)</p> <p>② 各学年での志望理由書に関する取り組みに対して、アンケートによる生徒の満足度85%以上。(R3:83.5%)</p> <p>③ 全生徒と各学期に1回以上進路や学習、生活面についての面談をする。</p> <p>④ 1年時:エンカル消費についての課題を見つけられている。 2年時:グループ研究を行い、解決法を考えている。 3年時:個別研究を行い発表ができる。</p>	<p>評価指標の達成度</p> <p>① 最終進路先に満足する生徒の割合、本校の進路指導に満足する生徒の割合ともが97%で、いずれも目標を達成した。</p> <p>② 3年生対象のアンケートでは、「志望理由書模試に主体的に取り組めた」と答えた生徒の割合は86.4%で、目標を達成できた。</p> <p>③ 学期はじめなど適切な時期に面談ができていた。1,2年生は科目選択や進路目標設定など、3年生は教科に加え面接、小論文指導などきめ細かな個別指導を実施した。</p> <p>④ 1学年は「エンカル消費」に精通した外部講師を9回招き、身近な問題について関心を持つ意識付けができた。2学年はグループでの探究活動を行い、石井町中央公民館で発表会を実施した。3学年では、進路に関する課題研究や卒業制作に主体的に取り組むことができた。学習目標と計画を随時提示しながら指導を行った。</p>	<p>総合評価</p> <p>(評定) A</p> <p>(所見) コロナ禍のため、昨年度まで十分実施できなかった進路ガイダンスや進路講演会等を、今年度はほぼ通常開催できたこともあり、進路情報の提供や進路相談はスムーズであった。また、「総合的な探究の時間」での取組は、自らの進路や生き方について考えるきっかけとなっており、進路指導と探究活動が良い相乗効果をあげていると言える。</p>		<p>○アンケートの満足度は昨年度より高い数値となっており、目標達成したと言えるが、来年度以降も継続できるよう、各学年、教科と連携して取り組んでいきたい。 ○今年度1年生から新教育課程となり、より早期の進路目標設定や、それにともなう科目選択の指導がますます重要になってくる。 ○「総合的な探究の時間」における地域連携、フィールドワークの充実に取り組んでいきたい。</p>
		進路指導課	<p>活動計画</p> <p>① 生徒の進路相談に随時応じ、丁寧な進路指導を行う。</p> <p>② 志望理由書に関する取組を2・3学年の年間計画に位置づける。各ホームルームでの事前指導を経て、志望理由書模試を実施し、事後指導の後、アンケートで生徒の満足度を確認する。2・3学年では、事前指導の中で講演会も実施する。</p> <p>③ 生徒と担任、学年団との面談を実施し、個別にきめ細かい指導を行う。</p>	<p>活動計画の実施状況</p> <p>① 進路指導室や就職指導室を活用して、生徒からできるだけしっかり話を聞きながら進路相談に応じた。</p> <p>② 年間計画の通り、志望理由書模試の初回を2学年3学期に実施し、リライトを3学年1学期に実施した。模試を受ける前に、学習教材「マスターノート」を用いて事前指導を行った。リライトの前には、外部講師を招いて志望理由書の書き方についての講演会を実施した。</p> <p>③ 生徒の様子をよく見て、昼休みや放課後など、担任、学年主任や部活動顧問なども交えての面談を行った。</p>			

		④ エシカル消費についての講演会を聴いたり、一人一台タブレットを有効活用して、自ら必要な資料を収集する。	④ エシカル消費に関する講演会は、1学年で9回実施した。全学年を通じて、情報収集や発表資料の作成の際には、一人一台タブレットを有効に活用できた。		
--	--	--	--	--	--

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
			評価指標	評価指標の達成度	
学習指導の徹底	④基礎的・基本的な学力の育成	教務課	① 定期考査期間中の平均家庭学習時間2時間以上の者が30%以上、かつゼロ時間の者がゼロであるようにする。(R3:2時間以上の者の割合は56%、ゼロ時間の者の割合は2%)	① 学習時間2時間以上の者の割合は55%、学習時間ゼロ時間の者の割合は3.9%であった。	(評定) B
			② 一人あたりの図書館利用回数年間で12回以上。(月1回以上)	② 年間での利用回数は一人当たり8.1回であった。(1月31日現在)	
			③ 授業評価アンケートを実施し、生徒の授業満足度70%以上。	③ 授業が『わかりやすい』または『ややわかりやすい』と答えた生徒は92.7%であった。	
		教務課	活動計画	活動計画の実施状況	(所見) 落ち着いた教室環境のもとで、個々の生徒に応じたきめ細やかな指導ができています。学習に対する生徒の取り組み姿勢も改善しつつある。長期休業中に欠点取得者対象の基礎学力補充講座を実施し、生徒の基礎学力の養成に努めている。
			① 学習時間調査を実施し、生徒に対する意識づけを行い家庭学習時間ゼロをなくす。	① 考査時間割発表日から学習時間調査を実施し、計画的に学習ができるように学習時間表を配付し、担任の先生方がそのチェックと状況把握を行い指導に役立てた。	
			② 教科・科目と連携して推薦本を紹介し、さまざまなジャンルの本に興味・関心を持たせ、貸出冊数の増加につなげていく。	② 読書感想文全国コンクールや読書感想画の課題図書や各種文学賞受賞作品のコーナーを作るなど、教科との連携を図った。	
③ 教科会等で授業研究を行い、わかりやすい授業の実施に努める。	③ 新しい教育課程の実施に伴い、各教科で教科会を開き、計画的に研究授業の計画・実施・振り返りを行った。				

自己評価				学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	主担当	評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見
			評価指標	評価指標の達成度	
文化芸術活動の推進	⑤芸術科の生徒を育成し、芸術科としての充実を図る	芸術科	① リーディングハイスクールの指定を受けて、音楽・美術・書道が一体となる「名高フェスティバル」を成功させる。(来場者500名以上)	① 「第2回名高フェスティバル」では音楽・美術・書道コースが共演し「名高アンセム(応援歌)」を披露した。来場者数は1602名であった。	(評定) A
			② 芸術科の各行事や日々の活動の取組みを、ホームページやさまざまな機会を通じて効果的に案内・広報する。	② ホームページや新聞など、芸術科の各行事や日々の活動の取組みを、効果的に案内・広報することができた。	
			③ 高文祭では全国大会に3部以上、各種大会・コンクールについては全国規模の入賞・入選数80。(R3:高文祭4部門、入選82)	③ 全国高校総合文化祭(東京大会)に4部門出場した。全国規模の入賞・入選者数は156名1団体であった。	

英語科	④ 外国の文化・慣習等に興味・関心を持ち、国際交流への意識を高めた生徒の割合70%以上。(R3:66%, R2:76%)	④ 全校生徒対象のアンケートで、「国際交流への意識が高まりましたか」という質問に、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒の割合は90.5%で、目標を達成できた。	者数であった。国際理解講演会を3年ぶりに開催できたことや、各クラスでALTとのチームティーチングが増えた結果、国際交流への意識を高めたと答えた生徒の割合は昨年より大幅に増加した。本年度も各種大会やコンクールで優秀な成績を収めることができた。ホームページ更新数も大幅に増加し、生徒の活動の様子を迅速に発信できた。
芸術科	活動計画 ① 「第2回名西高校フェスティバル」の充実を図るため、あらゆる機会を捉えて作品の応募やコンクールへの出場を行う。 ② 各コースの担当者は、芸術科の各行事や日々の活動の取組みを、ホームページに掲載する。(R3:更新数49回) ③ 文化部の活動者数を確保し、大会参加や活動の機会を活かし、粘り強く指導する。	活動計画の実施状況 ① 県内外の展覧会やコンクールに積極的に出場・出品し優秀な成績を収めることができた。充実した「第2回名西高校フェスティバル」が実施できた。 ② 芸術科の行事や活動の様子をホームページに73回掲載した。 ③ 文化部の指導を充実させ、日頃の活動の様子を「第2回名高フェスティバル」で発表した。	
英語科	④ 生徒の国際理解を深めるために、全校生徒対象の講演会等を1回以上開催する。また、ALTも積極的に活用する。(講演会R3:0回, R2:0回)	④ 本年度は国際社会を生きるために必要な人権の視点についての講演会を開催した。ALTの活用については、全クラスにおいて週1回チームティーチングを行う計画を立て、特別時間割やALTの出張などを除くと計画通り実施できた。	

重点課題	重点目標	主担当	自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善策
			評価指標と活動計画	評価	学校関係者の意見	
地域社会との連携	⑥地域社会との連携と開かれた学校づくりの推進	総務課	評価指標	評価指標の達成度	総合評価 (評価) A (所見) 多くの項目で活動計画に掲げた目標をクリアすることができた。 生徒数が減少し、保護者も当然減少しているが、その中で様々な行事や会議で参加者は確保できている。100周年に向けてますます学校に関心を持ったり、足を運んでいただけるよう努力したい。また、地域との交流では保育所・	芸術科がベースとなり、地元可愛される学校になってきていると感じる。来年度からコロナ対応の規制が緩和されるといふことである。ぜひ中学校との交流をお願いしたい。芸術科と交流したりサイバーセキュリティ教室も歓迎である。絵本や「石井町二十歳の集い」の看板作成、名高パトロール隊による見守りなどしてくれている。石井町での活躍の場を増やしていきたい。
			① 自主的にボランティア活動を行った生徒が、全校生徒の60%以上。(R1:52.8% R2・R3は様々なボランティアイベントが中止)	① 名高パトロール隊として防犯の啓発活動、石井町で開催された夏祭りでのゴミ回収活動やエシカル食堂、親子クリスマス会等のボランティア活動にたくさんの生徒が参加		
			② 藤花同窓会と学校が連携して充実した同窓会活動を実施する。藤花同窓会の活動について、在校生や地域に周知・広報し、総会に多くの会員が参加する。	② 同窓会役員の皆さんが大変積極的に会議等に参加してくれている。100周年に向けてさらに輪を広げられるよう努力したい。		
			③ 学校行事や部活動等の様々な取組みをホームページで掲載、月に10回以上の更新を行う。	③ 芸術科を筆頭に70回を超える更新を行うことができた。		
			④ 地域社会と連携し、県内唯一の芸術科を有する学校として、芸術・文化を広める拠点校となる。	④ 各種コンクールへの応募や中学生を対象とした講習会の実施などにより十分にその役割を果たせた。		
			⑤ 展覧会・演奏会等の広報活動(ホームページ・ポスター・新聞等)を迅速に行うとともに、中学生を対象とした行事や近隣施設での活動の充実を図る。(R3:中学生対象行事Zoom参加者36名)	⑤ 多くの方の協力を仰ぎながら、広報活動も活発に行うことができている。中学生対象の諸活動も活発に行われており、参加者数も芸術科説明会で109名、オープンスクールで163名と多く、その感想等も好評である。		
			⑥ 「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して地域の安全のため、パトロールや挨拶運動、美化活動を年30回以上実施する。(R3:32回)	⑥ 全ての運動部員と生徒会役員が「名高パトロール隊」に所属し、挨拶運動や町内のパトロールなど32回、意欲的に活動した。		

	<p>⑦ 交通安全キャンペーンを年2回以上実施し、交通マナーの向上と地域の交通安全に貢献する。(R3はコロナのため中止)</p>	<p>⑦ 春と秋の全国交通安全運動期間に徳島名西署と連携して、街頭キャンペーンを実施する予定であったが、コロナウイルス感染のリスクを考慮して春だけの実施となった。</p>	<p>小学校等でのミュージカル公演を行うなど、新たな試みも実施できた。</p>	<p>石井町総ぐるみ人権啓発研修での合唱披露などできればと思う。</p>													
総務課	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動計画</th> <th>活動計画の実施状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 石井駅周辺の通学路、及び校内の美化活動への参加を呼びかける。</td> <td>① 生徒・教員により石井駅周辺の通学路の清掃を行った。</td> </tr> <tr> <td>② 百周年記念事業実行委員会を開催する。卒業式前日に同窓会入会式を実施して、各ホームルーム理事に委嘱状を手渡し、同窓会員となる自覚を促す。</td> <td>② 予定より遅れたが、実行委員会を組織し取り組むことができた。同窓会入会式も計画通り実施した。</td> </tr> <tr> <td>③ 各課にホームページ更新作業の出来る教員を増やし、学校行事や授業の様子、部活動の取組み等を紹介する。</td> <td>③ 担当者が行事や会議の後、こまめに更新してくれている。</td> </tr> <tr> <td>④ 地域での文化祭や展覧会、文化行事において、生徒の演奏会や作品交流を実施する。</td> <td>④ 名高フェスティバルの演目を使い、地域の保育園、小学校、中学校へ出張公演に出かける等交流をすることができた。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 校内外で展覧会・演奏会を年間3回以上実施する。オープンスクールでの公開授業や中学生のための音楽・美術・書道教室を実施する。</td> <td>⑤ 予定通り展覧会・演奏会を実施することができた。</td> </tr> <tr> <td>⑥ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。</td> <td>⑥ 徳島名西署や石井町青少年育成センターと連携を図りながら、部活動時のパトロールや校門前での挨拶運動など様々な取組を実施した。今年度は書道部がフジグラン石井で書道パフォーマンスによる防犯キャンペーンも実施した。</td> </tr> <tr> <td>⑦ 徳島名西署と連携を図り、交通委員会がキャンペーンを実施する。また秋の交通安全キャンペーンでは学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。</td> <td>⑦ 徳島名西署や交通安全協会と連携を図り、秋の交通安全運動キャンペーンで家庭クラブが手作りで作成した「無事カエル」のマスコット人形を交通安全啓発のパンフレットと一緒に配布する予定であったが、コロナウイルス感染のリスクを考慮して実施しなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	活動計画			活動計画の実施状況	① 石井駅周辺の通学路、及び校内の美化活動への参加を呼びかける。	① 生徒・教員により石井駅周辺の通学路の清掃を行った。	② 百周年記念事業実行委員会を開催する。卒業式前日に同窓会入会式を実施して、各ホームルーム理事に委嘱状を手渡し、同窓会員となる自覚を促す。	② 予定より遅れたが、実行委員会を組織し取り組むことができた。同窓会入会式も計画通り実施した。	③ 各課にホームページ更新作業の出来る教員を増やし、学校行事や授業の様子、部活動の取組み等を紹介する。	③ 担当者が行事や会議の後、こまめに更新してくれている。	④ 地域での文化祭や展覧会、文化行事において、生徒の演奏会や作品交流を実施する。	④ 名高フェスティバルの演目を使い、地域の保育園、小学校、中学校へ出張公演に出かける等交流をすることができた。	⑤ 校内外で展覧会・演奏会を年間3回以上実施する。オープンスクールでの公開授業や中学生のための音楽・美術・書道教室を実施する。	⑤ 予定通り展覧会・演奏会を実施することができた。	⑥ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。	⑥ 徳島名西署や石井町青少年育成センターと連携を図りながら、部活動時のパトロールや校門前での挨拶運動など様々な取組を実施した。今年度は書道部がフジグラン石井で書道パフォーマンスによる防犯キャンペーンも実施した。
活動計画	活動計画の実施状況																
① 石井駅周辺の通学路、及び校内の美化活動への参加を呼びかける。	① 生徒・教員により石井駅周辺の通学路の清掃を行った。																
② 百周年記念事業実行委員会を開催する。卒業式前日に同窓会入会式を実施して、各ホームルーム理事に委嘱状を手渡し、同窓会員となる自覚を促す。	② 予定より遅れたが、実行委員会を組織し取り組むことができた。同窓会入会式も計画通り実施した。																
③ 各課にホームページ更新作業の出来る教員を増やし、学校行事や授業の様子、部活動の取組み等を紹介する。	③ 担当者が行事や会議の後、こまめに更新してくれている。																
④ 地域での文化祭や展覧会、文化行事において、生徒の演奏会や作品交流を実施する。	④ 名高フェスティバルの演目を使い、地域の保育園、小学校、中学校へ出張公演に出かける等交流をすることができた。																
⑤ 校内外で展覧会・演奏会を年間3回以上実施する。オープンスクールでの公開授業や中学生のための音楽・美術・書道教室を実施する。	⑤ 予定通り展覧会・演奏会を実施することができた。																
⑥ 運動部員を中心とした「名高パトロール隊」を編成し、地域社会や警察と連携して、清掃活動や防犯キャンペーン、挨拶運動を適宜実施する。	⑥ 徳島名西署や石井町青少年育成センターと連携を図りながら、部活動時のパトロールや校門前での挨拶運動など様々な取組を実施した。今年度は書道部がフジグラン石井で書道パフォーマンスによる防犯キャンペーンも実施した。																
⑦ 徳島名西署と連携を図り、交通委員会がキャンペーンを実施する。また秋の交通安全キャンペーンでは学校家庭クラブが製作した「無事カエル」のマスコットを配布する。	⑦ 徳島名西署や交通安全協会と連携を図り、秋の交通安全運動キャンペーンで家庭クラブが手作りで作成した「無事カエル」のマスコット人形を交通安全啓発のパンフレットと一緒に配布する予定であったが、コロナウイルス感染のリスクを考慮して実施しなかった。																